研究委員会　ダイカスト研究部会(常設)

“技術の統合･最適化によるダイカストの生産性向上　研究部会”の委員公募

(公社)日本鋳造工学会　研究委員長　神戸 洋史

1988年にダイカスト研究部会を開設し，ダイカストに関する生産技術や不良対策技術などについての情報交換や討議を進めてきました．前研究部会では「ダイカストの生産性向上」についての取り組み，情報交換を進めるとともにサイクルタイムについてのアンケート調査を行い，サイクルタイムに影響する因子を明らかにしました．しかし，ダイカストの鋳造技術主体での生産性向上はそろそろ限界に近づきつつあります．

そこで，当研究部会では，前回のテーマをさらに発展させ，「技術の統合･最適化によるダイカストの生産性向上」として，金型，離型剤，鋳造モニター＆管理システム，溶湯管理などの周辺技術に枠を広げて，これらの工法技術と管理技術との統合や最適化により，さらなる不良低減，サイクルタイムの短縮について取り組んでいきたいと考えています．

数多くの方に参加していただきたく，よろしくお願いいたします．

- **研究活動期間**　：　平成 25 年 4 月から 3 年間
- **委員会回数**　：　4 回/年
- **構成委員数**　：　約 50 名
- **部　会　長**　：　佐々木 英人(㈱アーレスティ)
- **年　会　費**　：　30,000 円

参加を希望される方は，下記の申込書に記入の上，幹事の井澤龍介(リョービ㈱)まで平成 25 年 5 月 31 日までにお申し込みください．なお，部会委員はその運営上，経費の一部負担，部会での共同実験及び研究報告などの義務を負っていただくことになります．また，委員の構成数には制限がありますので，あらかじめご承知おきください．原則として委員は 1 社 1 委員で，日本鋳造工学会の正会員に限らせていただきます．また，基本的には途中からの研究部会参加はできませんので．ご承知おき下さい．

なお，第 1 回研究委員会は 6 月中旬頃に名古屋で開催する予定です．

リョービ㈱　井澤龍介　宛て　　E-mail：r-izawa@ryobi-group.co.jp

技術の統合・最適化によるダイカストの生産性向上　研究部会　参加申込書

氏　　名	
勤　務　先	
所　属・役　職	
住　　所	〒
連　絡　先	TEL：　　FAX： E-mail：